

道 徒 の 聖



末日聖徒イエス・キリスト教会

株式会社 丸ビルタイプショップ

千代田区丸の内丸ビル2階 電話(201) 0979・3698・5959

ジーマッグタイプライター }
アンタレスポータブルタイプライター } 日本総発売元
オドナー計算機 }

其の他各種英・和文タイプライター・手動・電動計算機販売・修理

美術印刷

型録・図案

企画・編集

合名会社 三五堂

東京都渋谷区八幡通2-15

電話(461) 1787・8690

書類整理の能率を高める

ファイルネット

(カタログ進呈)

Stoki

と

ファイル用具

伊藤喜商店

東京・大阪・名古屋・福岡・小倉

東京都中央区銀座1の3

Tel(56) 9371~5

聖 徒 の 道

1960年 6 月号



〔予言者のことば〕

神権者の保持……………デビッド・O・マッケイ…(162)

〔伝道部長メッセージ〕

主の御教えを実行して

隣人愛に徹しましょう

……………ポール・C・アンドラス…(165)

「モルモンの教義」

神 権 (13)……………佐藤竜猪…(167)

私 の 改 宗

……………ウィルフォード・ウッドラフ…(176)

極東に於けるモルモン

私 の 改 宗……………阪本晴子…(177)

「特 集 記 事」

1. ゴルドン・B・ヒンクレ

……………ラマー・S・ウィリアムス…(171)

2. 伝道部発展の四つの提案

……………ゴルドン・B・ヒンクレー…(174)

高橋五郎とその著書“モルモン教とモルモン教徒”

……………大塚昌治…(179)

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史枠(6)

ジョセフ・フィールドینگ・スミス……………(184)

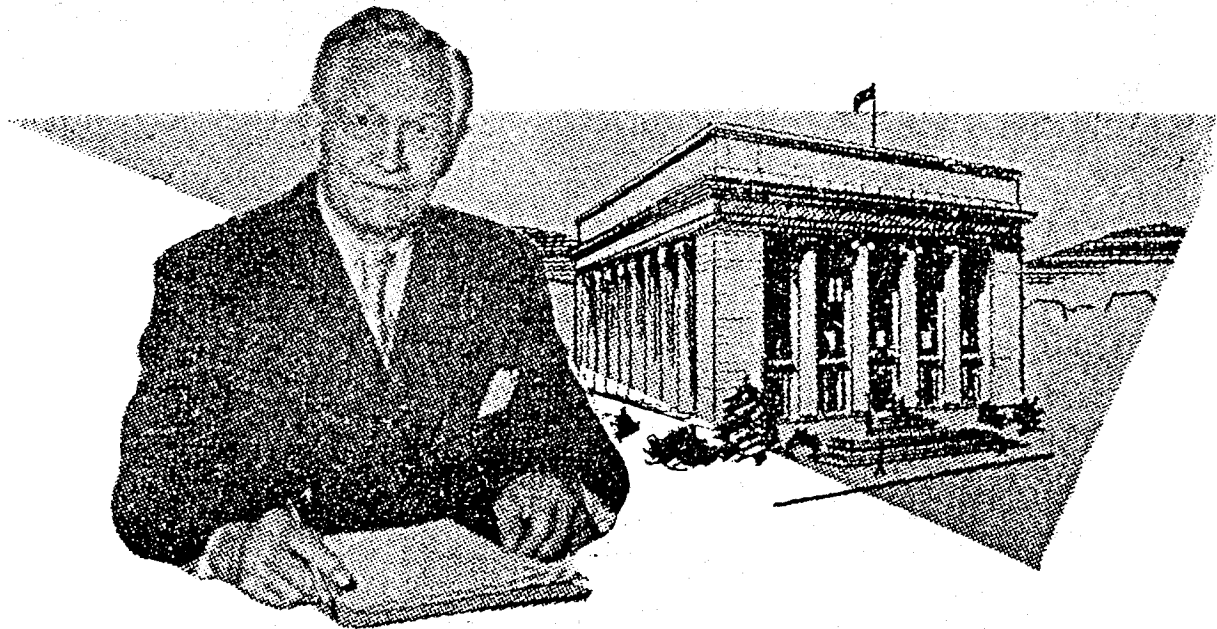
予言者ジョセフ・スミスと

ハイラム・スミスの殉教……………(189)

伝道本部だより……………(191)

神権の保持

大管長 デビド・O・マッケイ



末日聖徒イエス・キリスト教会は一九五九年六月にメルケゼデク神権回復の百三十年祭を行った。およそ神権が人に委任されたとき、それはその人が敬い尊ぶようなものになるとは言え、人の名譽として授与されるのではなくて、神の代表となる権能として、また人間に不死不滅と永遠の生命をもたらす主の御業を授ける一つの義務として授与されるのである。

兄弟たちよ、神の権能によって神権を保持することは人間の持つことのできる最大の賜物の一つであって、それにふさわしいことが第一に大切である。身心を清め、喜んで隣人に奉仕する精神を以て神権を敬い尊びなさい。

神権の真髄は「永遠なるもの」である。それが生活にあらわれるときに力となる。神権の力は貯水池の如き潜在的の力であると考えることが出来る。この力が解放されて、山間の平地で畑でまた楽しい家庭で働きをするようになったとき始めて活動的であり善を産み出すようになる。その通り、神権の力も人々の生活の中で働いて、これらの人の思いや望みを神の方へ向け、隣人に奉仕する励ましを与えるときに始めて現実にあられるのである。

神の代表をする責任の重さを痛感する者は非常に恵まれている。その人は、どのような時にもよく考えて行動し物を言わなければならないというくらい責

任を感じべきである。神権を保持している者は、誰であってもその妻に対して荒々しくあつてはならない。神権を保持している者は誰であつても、食物に祝福を与えたもうよう祈りをし、子供らと共にひざまずき、神の導きを祈ることを欠かしてはならない。男が神権を保持し神権を敬い尊ぶから家庭はすっかり変るが、神権は独裁者のように用いるべきではない。教授法もしくは管理と心理の最も見事なレッスンの一つは、主が予言者ジョセフ・スミスに下したもうた啓示である。すなわち「曰く、神権の権能は天の能力と固く結びつきて離るべからざるものにして、天の能力は正義の原則によりてのみ支配し運用し得るものなり」と「この権能のわれらに与えらるる事もあらんは真実なり。されども己が罪を覆いかくさんとし、われらの高慢、空しき野望を充たさんと企て、または幾分にて正しからざることによりて人の子らを支配し、統御し、強制せんとする時は、見よ諸天は退き去り、主の「みたま」悲しむ。主の「みたま」退き去らば、神権またはその人の権威は終りなり」「如何なる権力も勢力も、神権によりて維持する能わず、または維持すべきものにあらざ、ただ説服と堅忍と柔和と温情と偽らざる愛とによる」「また親切と淨き知識すなわち偽善にあらず奸智にあらずしてその人を甚だ大いならしむるものによる」。

「すなわち、聖靈に感動しては機に臨みて激しく人を責然る後、また彼の汝を敵視せざらんために責めたるそ

の人に一層の愛を示す」(教義と聖約第百三十一章三十六、三十七、四十一・四十三) 厳密に言えば、委任された権能として神権は個人が持っているものである。しかしながら神の命によって、神権の中の特定な職に就いて働くよう任命された人々は一体となつて定員会をつくる。神の承認によつて設けられたこのようなグループが在ることは、人間が互いに頼り合うことが相互扶助のために欠くべからざる必要であることを明らかに告げている。われわれは、神から与えられた権利によつて社会生活を営む者である。

われわれの生活は他人の生活で包まれている。われわれは他人の生活のために尽すときに最も幸福である。私は、あなた方が神権を持っているから他人に奉仕しなければならぬと言ふ。あなた方は割り当てられた分野で神の代表をするのである。かくの如く、この権能は個人だけでなくグループを通して現実に現われる。神権者定員会は、知りたい愛したい互いに助けたいという同じ熱望をもっている人々にとつて好い機会である。

定員会が働きをするには教会組織がなくてはならない。神が人間を取り扱いたもうた歴史の歩みの中で、正規の組織をもつた教会が地上になかつた時、個々の予言者が聖なる神権を帯びていたことがあつた。しかし、このような状態では組織された神権者定員会は全然なかつた。それであるから、教会は神権の権能が正しく行われ施されることが出来るための媒である。およそ神権の権能が余すことな

く地上にある時には、教会組織が維持されなくてはならない。これに反し、聖なる神権の権能がないところに眞の教会があるはずがない。神権を保持する者たちが教会のもつ偉大な使命を心に銘じているかぎり、地上に於ける主の御業は将来永久に保証されるのである。

今われわれはキリストによる兄弟愛によって結ばれた世界で最も偉大な組織の会員であることを心から自覚しようではないか、そして数ある定員会の基準を維持するため、毎日毎日、終日全力を尽そうではないか。

わが教会の組織はきわめて完全であるから、教会員である者は誰でも皆何かする事を見つけることができるが、それによって彼の靈の幸福が向上するのである。イエス・キリストの教会の中ではどんなに年の行かない少年でも、またはどんなに年とった男の人でも働く機会がある。さて、それはどういう意味であるか考えてみたまえ。あなたは心の中で「この神権の時代」にわれわれに啓示された数々の組織を入念に調べてみたまえ。大管長会から始めて十二使徒、大祭司、七十人、長老、祭司、教師、執事に至るまで神権の系統をすっかり調べてみたまえ。何時でも行動を起そうとしているあの強大な男子軍を見よ、彼らは何を為さんとしているのか。何を為せと言われているのか。主のために働くこと。それは何を意味する。それは働きを意味する、働きは知識を意味する、そして知識は永遠の生命を意味する。

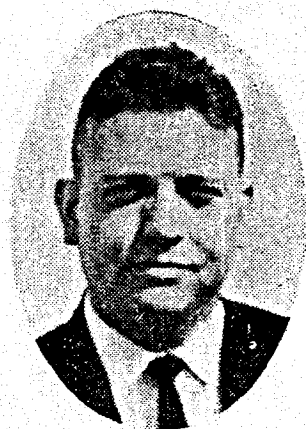
われわれは正直、誠実な生活を送ろうではないか。われわれは自己に対して、兄弟たちに対して、家族の者に対して、またつき合う人々に対していつも正直にしようではないか。それは人々の眼がわれわれに注がれている上に、全人格の基礎は正直と誠実の原則の上に置かれているからである。

「己が生命を救わんと思う者はこれを失い、わがために己が生命を失う者はこれを得べし」(マタイ伝十六〇二十五)。神権を保持する者は一人のこらずその基礎の上に建築するのである。

※ ※ ※

「日の老^ひたる者」

旧約聖書ダニエル書第七章九節および十三節を見ると「日の老たる者座を占めたりしがその衣は雪の如く白くその髪の毛は漂しきよめたる羊の毛のごとし」(九節)、「人の子のごとき者雲に乗りて来り日の老たる者のもとに至りたれば……」(十三節)とあり、口語訳聖書にも「日の老^ひたる者」としてある。この「日の老^ひたる者」、欽定訳聖書(英語)で「Ancient of days」としてある者は何者であるか。彼は人類の始祖アダム、すなわち「すべての人類の中、最初にして最も年老^ひたる者」にほかならない(「予言者ジョセフ・スミスの教え」一六七頁参照)。



主の御教えを実行して 隣人愛に徹しましょう

ポール・C・アンドラス

あなたは物を気にし易い質ですか。

あなたは今までに人から感情を傷つけられたことがありますか。

あなたはこれまでに誰かと意見が合わなかったことがありますか。

あなたは誰かと議論口論又はけんかをすることがありますか。

か。

あなたは教会の或会員がしている或事に不満を持っていますか。

あなたは教会の或役員たちが物事を行っているやり方に賛成をしていませんか。人に対して悪い感情を抱いてはいませんか。

私たちは人間でありますから、私たちの全部でなくても、大部分の者は今挙げた質問の皆でなくとも大部分に対して全く正直にそうだと答えるにちがいありません。

それにもかかわらず、主は私共に隣人を愛しまた互いに愛せよと仰せになりました。また主は私共に相一致せよと仰せになりました。また主はもし私共が互いに愛せずまた相一致しないならば、私

共は主の弟子になることもできないし、また隣人たちも私共が主の弟子であることを知らないにちがいないとまで仰せになりました。

(ヨハネ伝十三〇三十四・三十五、教義と聖約三十八・二十九)しかし、私共の教会は神の真の教会であると主張して居ります。また教会の会員として私共は主イエス・キリストに従う者たちであると主張して居りますから、私共は人間の弱さであるからと言って私共の表わす愛と一致の欠けたことと、先に述べた愛と一致の教えとを両立させることがどうしてできましょうか。主は自らこの問題に対する解答を「教義と聖約」第四十二章、八十八節から九十二節までの中ではっきりとお示しになりました。主はその八十八節でもし誰でも私共を害するならばひそかにその人の所へ行って和解を求めるべきであると教えておいでになります。そうした後で和解を得ることができない時には、私共はその事を支部又はワード部の管理長老、言葉を換えて言うに支部長又は監督の注意を引くようにせよと

教えられています。主の御教えは宜しい。困ったことは、主の御教えに従う教会員の数あまりに少いこととあります。あまりに多くの教会員は全く直接の関係がない他の会員に対して不平を抱いて居ります。そうすることによってこの人たちはどのみち問題を改善することなしに事態を一層悪化させるだけの不当な非難と隘口とをかき立てています。主が私共に下さった御教えは、もし誰かがあなたを害するならば、すなわちもしあなたが誰かに反対しているなら、その人の所へ行って二人きりで懇談せよ、というのであります。もしも全教会員が主の下さったこの御教えに従うならば、すべての教会員の間に愛と一致があるでございましょう。人間は弱い者であるから会員たちの間に誤解と不一致とが自然に起るにちがいないことを主は認めておいでになりますから、このような誤解と不一致とが起るや否やすぐにこれらをすべて解決する方法をお示しになって居ります。当時者の所へ行って兄弟愛の精神で事を話し合うという簡単な手段は常に奇跡を行っています。感情を害したりまたは誤解をしたりする場合に、その問題は通常その場で解決されています。意見の不一致がある時には、あなたと意見の合わない人、特にその人が教会の役員ならその人のところへ行つて自分の思うことを述べるのはあなたの義務であります。「自分の思うことを述べよ、それから協力をせよ」とは教会の一人一人にとって良い法式であります。実際、教会の会員一人一人は皆相談役でありますから教会の上の人々に助言をする義務があります。例えて言えば、もしもあなたがこれは役に立つかも知れぬと言う考えを持っているなら、または或教会役員の物事を行っているやり方が気に入らないなら、あなたはその教会役員のところへひそかに行つて、率直にしながら愛の精神

を以て思うところを言い表わすべきであります。しかし、あなたはまたその教会役員があなたの提案通りに決めないかも知れぬということ認識しなくてはなりません。またその場合にあなたは、その役員の決定を全く支持する心がまえでなくてはなりません。各役員はその職務に関する義務を遂行するに当り啓示と導きとを受ける権利を所有して居ります。それで、あなたの提案と考えとをよく聞いてから、彼はそれらを注意深く祈りの心持ちでよく考えなくてはなりません。そして彼がこうすると決めた時には、もちろんその決定が教会の教えやこれまでに定まっている教会の方針に反しないなら、その決定があなたの提案と正反対であろうともその決定を遂行するに当って彼を固く支持するのがあなたの義務であります、そうすることによって、意見の相違があるにもかかわらず一致することができるのであります。どんな理由があるにせよ、これまでどの教会員、または教会員にせよ非教会員にせよ、どの人に対してでも悪感情を抱いている本伝道部の教会員の一人一人に向つて、私は今こそ主の御教えを実行すべき時であることを提案いたします。事態を良くするために何らの行動もとらないことは、その問題に直接関係のない人々とその事を論じ合うとほとんど同じ位悪いことであります。怨みを抱いたり悪感情を持っていたりすることは、他の誰よりもこのような心持ちを持っている人に確かに多くの害を与えます。私共の間に意見の相違がないようなふりをするのを止めて、主がなさいます通り私たちの間には意見の相違があることを認めましょう。また私共はすべての誤解と不一致と悪感情とを除くために主がおきめになった行動をとるようにいたしましょう。また私共の隣人が私共を本當の主の弟子たちであると認め、またこの教会を本當の神の教会であると認めるように互いに愛し互いに一致しようではありませんか。

神 権 (十三)

佐 藤 龍 猪

聖なる神権の権能がないところに真の教会があるはずがない

(デビッド・O・マッケイ大管長)

一、神 権

神権とは英語「Priesthood」の訳語である。教会は神の与えたもうた「救いの計画」を受け入れた人々、すなわち「永遠に

計画」に定めてあるところがこの地上に於て行われるために必要な権能を神は人間に委任なさっている。この権能を指して神権という。

して英知ある者」たちから成っている。主なる神はこの地上に生を受けた「神の子ら」の履むべき道を教えたもうが、身自ら親しく地上に在って指図をなさることもなければ、天の使者を遣わして「神の子ら」の為すことを常に一々指図させたもうこともない。このようなことは、自由意志を行

神権者とはこの神権を受けて、教会または自己に関する事柄に関し、神に代つてこの地上で事を行う権能を持っている者である（ウィヅソウ長老著「合理的神学」第四版）。

使し自らの努力によつて進歩向上するのが人間の為すべき道であるという法則に反するからである。それであるから、「救いの

神権は神が地上と天上とを問わずあらゆるものを統べ治めたもう権能である。神権によつて万物は支配され、支えられ、また指揮されている。神権はまた天上に於ける諸々の「英知」と地上に於ける人間とに神から委任された権能である（ジョン・テ

ラー長老、ミレニヤル・スター誌九〇三二一）。

神権は創世の始めに神がその栄光を現わし始めたもうた「交通の路」であり、神は神権という「交通の路」を通じて、これまで人間に神自身を現わしたまい、また終りに至るまで神の目的を知らせたもう（予言者ジョセフ・スミスの教え「一六七頁」）。

「神の御子」の神権はこの世界が現に在り過去に在り、また未来永遠に在る「法」である。この「法」によつて諸々の世界が生じ、その上に諸々の生物が住み、日と月と年と季節の変化が生じ、これによつて諸々の世界は一層高い世界へ進んで行く（ブリガム・ヤング講話録一三〇）。

神権は人間に委任された神の能力にほかならない。この神権により、人はこの地上に於て天父と御子と聖霊の御名によつて人類を救う働きを法にかなって行うことができる。人はこの神権により諸々の罪を赦すためのバプテスマを執り行い、また聖霊を授けるための按手礼を行うことができる（ジョセフ・F・スミス大管長著「福音の教義」より）。

「曰く、神権の権能は天の能力と固く結びつきて離るべからざるものにして、天の能力

は正義の原則によりてのみ支配し運用し得るものなり……如何なる権力も勢力も、神権によりて維持する能わず、または維持すべきものにあらず、ただ説服と堅忍と柔和と温情と偽らざる愛とによる」(「教義と聖約」第百二十一章より)。

二、「神権の時代」

神権の時代または神権時代とは英語「Dispensation」の訳語である。新訳聖書エペソ書第一章十節にはこの「Dispensation」を「経綸^{けいりん}」としてある。最初の神権時代はアダムに与えられ、アダムは彼と彼の子孫がメシヤの贖罪によって死から贖われるという約束を受けた(「高価なる真珠」モーセの書五〇十一十五)。エノクも神権時代を与えられ、彼と彼の民は天にとりあげられた(「高価なる真珠」モーセの書七〇十九二十四、創世記五〇二十四)。ノアも神権時代を与えられ、全世界が背教に陥ったとき世の人々に警告をし、神から方舟^{はこぶね}を造れと命ぜられてその中に入り彼と彼の家族は助かった(創世記第六一八章)。アブラハムも神権時代を与えられ、神はアブラハムと特に契約を結びたもうて、彼と彼の裔^{うゑ}と

により万国の民は祝福を受けると約束したもうた(ガラテヤ書三〇七七八、十六一十九)。モーセもまた集合の「神権時代」を与えられ、イスラエル人をエジプトから導き出して約束の地へ連れて行った(ヘブル書十一〇二十四二十六、コリント前書十〇一一四)。パプテスマのヨハネは贖い主の来りたもう前に備えの「神権時代」を与えられた(ルカ伝七〇二十四三十三)。またイエス・キリストはその弟子たちに、福音の「神権時代」を福音が完全に回復された状態に於て授けたまい、弟子たちは全世界へ出て行って福音を説き教える委任を受けた(マタイ伝十六〇十八十九、十八〇十八、マコ伝十六〇十四十七)。

三、「福音の神権時代」

福音の神権時代「Dispensation of the

gospel」とは神が神の選びたもうた役員に神の言葉を世の人に施すすべての儀式を執り行う権威と権能とを委託したもうたことを意味している。しかしながら、「神権の時代」にはこれ以上の権能や特別の任務たとえば民に警告を与えること、そのほか人間と特別な契約を結ぶこと、および特に選ん

だ予言者にほかの予言者に勝った特別の権能を授けることなどの意味が往々含まれている(「救いの教義」第一卷一六〇一一六一頁)。

四、「完全なる福音」

完全なる福音「Fulfillment of the gospel」とは日の光栄の国の最上の位に昇る(昇^{エキサルテーション}、栄)の(本誌五月号モルモンの教義六参照)ために必要なすべての儀式と原則とを意味する。前の神権時代に、聖徒らはその忠誠によって最上の位に昇ることのできるあらゆる特権と能力とを授けられたが、また主なる神が「時満ちたる神権の時代」のために多くの特権と権威と知識とをとって置きたもうたということとはやはり本当である(「救いの教義」第一卷一六〇頁)。

五、「時満ちたる神権の時代」

時満ちたる神権の時代「The dispensation of the fullness of times」(エペソ書一〇十参照)は現代に至るまでに与えられたあらゆる神権時代の総和である。前に述べた通り最初の神権時代はアダムの神権時代であった。神はエデンの園に於て自らの声を以てアダムに語りたまい、救い主に就て約束をしたもうた

ことは人の知るところである（「高価なる真珠」モーセの書五〇五—十二）。そしてアダムの次にノア、ノアの次にアブラハム、アブラハムの次にモーセ、モーセの次にエライヤス、エライヤスの次にバプテスマのヨハネ、バプテスマのヨハネの次にイエス・キリスト、イエス・キリストの次にペテロ、ヤコブ、ヨハネの三人に「神権時代」が与えられた。使徒たちは神の啓示によって、世の始めから数々の聖なる予言者が語った「回復」の大きな企てを完遂するためその時の「神権の時代」をすべてが受けたが、その「回復」の最後がすなわち「時満ちたる神権の時代」であって、創世の時から言われていた通りにすべての事が成就するはずである（デビッド・W・パットン長老一八三八年七月エルダース・ジャーナル）。

予言者ジョセフ・スミスは時満ちたる神権の時代に「全くして欠くることなき完全なる合一とまた神権の時代と、鍵と、権能と、光栄との固き結合出来て、これがアダムの時代より現代に至るまでことごとく明らかにさる」（「教義と聖約」百二十八〇十八）と言っている。

六、「神権」と「鍵」

一般に言って、神権は神に代って行うために人間に与えられた権能である。神権の位に按手聖任された人は、すべて自分に委任されたこの権能をもっている。しかしながら、この権能を用いて行うすべての事は正しい時と場所と方法と順序に従って行われなければならない。これらの働きを指揮する権能が「神権の鍵」である。予言者である教会の大管長は、一代一人に限り「神権の鍵」を完全な状態に於て保有し、必要に応じてその「鍵」の一部を別の者に委託する。この場合その人はその特別な働きの「鍵」を保有しているのである。たとえば神権者定員会の会長はその定員会に属する人々を指揮する権能もしくは「鍵」をもっている。監督はその管理するワード部の内で行使する権能の「鍵」をもつて居り、ステーク部長はそのステーク部内で行使する権能の「鍵」をもつて居る。また十二使徒は全世界に於て福音を宣べ伝える権能の「鍵」をもち、教会の大管長は全教会を管理する「鍵」をもっている。そして教会の大管長は神権の権能に関するあらゆる「鍵」

をもつ上に、「時満ちたる神権の時代」に関するあらゆる性質の「鍵」をことごとく保有している。

余 録

メルケゼデクはサレムの王であつて至高き神の大祭司（大神権者）であつた（創世記十四〇十八、ジョセフ・スミス改訳聖書十四〇二十七）。ヘブル書を見るとその第七章二三節に「サレムの王、すなわち平和の王なり。父なく母なく系図なく、^{よわい}齡の始めなく、生命の終なく、神の子の如くにして限りなく祭司たり」とある。この譚訳に従つて世の中には多くの註釈が行われて居り、メルケゼデクは普通の人間の如くこの世に生れて来たのではない、彼には「父もなく母もなく系図もなかった」と言われていることがある。これはエリヤ（マタイ伝十六〇十四、二十七〇四十七、マコ伝十五〇三十五、ルカ伝四〇二十五、九〇五十四、ロマ書十一〇二、ヤコブ書五〇十七、列王紀略上第十七—十九章）に就いても同様であつて、エリヤは新約聖書にも所々その名があらわれて居り、旧約聖書には予言者として大いに活躍をして居るが、その生きていた時はイスラエルの王アハブの治

世、紀元前約九百年であつて、ギレアドに居住するテシベ人という以外に生れと住所に就いてはほとんど知られていない。そしてイスラエルの歴史の中に突如としてあらわれ、その最後を知る者がいない（列王紀略下二〇十七—十八）から、メルケゼデクと同じく「父なく母なく系図なき」神秘的な人物であつたと思つてゐる人が外い。しかし「父なく母なく、系図なき……」はメルケゼデクにかかる言葉でなくて「神権」に就いて言つてゐる言葉である。従つて、ヘブル書第七章二三節は次のように解すべきである。「……サレムの王すなわち平和の王なり。このメルケゼデクは父なく母なく、血統なく、^{よひ}齡の始めなく、生命の終りなき『神の御子の神権』の位に等しき祭司の位に按手聖任されたればなり。而して、この神権の位に按手聖任された者はすべて『神の子』の如くにして限りなく祭司たり」（ジョセフ・スミス改訳聖書ヘブル書七〇二・三）。

「第一の位」と「第二の位」

人間はこの世に生れて来る前に霊として神の御前に住んでいた。しかし、霊の世界

では得られない経験を得ることが必要になつたので、この世に生れて来る特権を与えられたのである。人間が霊の世界に居た時、彼らは骨肉の体（復活体）を持ちたまふ「父なる神」の前に居た。「父なる神」は真実われわれ人間の霊の生みの親であり、太陽の光にもまして輝やく栄光を具えた御方である。そして「救いの計画」がわれわれの前に出された時、次のようなことが知らされた。すなわち人間がその「第一の位」からこの世へ来て死ぬべき身を持ち、「父なる神」の与えたもうすべての誠命を忠実に守り行ふならば（すなわち「第二の位」を保つならば）、この世の旅路を終つた後に復活体を得、太陽の輝やきに等しい栄光を具えて「父なる神」の御前に帰ることができると。人間は前世に於て霊であつたが、人間が進歩発達をしてついに「完成」といふ目標に達するためには、肉体を具えた「人間」（霊と肉の結合体）となつて、死ぬべき定めのあるこの世を渡り、いろいろの試みを受けて、「高い栄の国へ昇る」準備をする必要があつた。かつて天上に於て「大会議」があり、その時「父なる神」はその霊の子らを呼び集めて一つの「計画」

をお示しになつた。それによると、霊である「神の子ら」はこの世へ来て肉体に宿り、人の世を渡つて後、「神の独り子イエス・キリスト」の贖いによる復活を経て「高い栄えの国」へ昇つて行く。この「浮世」の中にあつて人生の快楽を味わうと共に榮枯盛衰、悲哀苦痛も味わつた後、もし神の誠命に忠実であつたなら、復活を経てから「神の御国」に於て「永遠の生命」——神と共なる生活——が与えられるということを考へて、これら「神の子たち」はみな喜び呼ばわつた（ヨブ記三十八〇七）。人間の霊は各々「自由意志」を持つていた。従つて或る者は他の者よりも勝れて居り、それらの中から「父なる神」は召して予言者となることを「予任」したもうた（エレミヤ記一〇五）。人間の霊は前世に於て同等ではなかつた。太初に於て同じスタートをしたかも知れないが、彼らは自由意志を持つていたから、それによつて、久遠に亘る不死不滅の状態を通じて、或る者は他の者よりも英知に於て勝れ、一層忠実であり、一層真理をよく受け入れていた（「高価なる真珠」アブラハムの書三〇十九—廿三、「救いの教義」第一卷五十六—五十八頁参照）。

ゴルドン・B・ヒンクレイ



十二使徒会補助

<特集記事1>

ラマー・S・ウィリアムス

百三十年前の今月（六月）に、サムエル・ハリソン・スミスは宣教師として東方に伝道に行くようにジョセフ・スミスによって按手任命された。この小さな始まりから国際的名声を博している教会の偉大なる宣教計画に進展したのであった。この最初の伝道に於て、モルモン経が売られ、福音は説かれ大いなる御業が成長したのであった。

多年の間、伝道部補助及び伝道部委員会実行委員長として、ゴルドン・B・ヒンクレイは、この部門に於ける主の御業の促進に貢献して来たのであった。大管長会及び伝道部委員会の指示の下に彼は福音を教えるに必要な資料を持たせた、一万一千名以上の宣教師をステーク部及び外地伝道部に送り出す責任を果たしているのである。宣教師の働らきによって昨年度（一九五七年度）には三万名以上の改宗者があった。伝道部はいろ／＼な事即ち伝道の為の翻訳、宣教師の召し、宣教師の訓練、伝道部長への援助伝道文献の準備と配布、疾病宣教師の問題、伝道報告、ラジオ放送、教育映画、絵画、其他種々こまかなこと迄、つかさどっている。

るのである。この仕事に加えて彼は東ミル・クリーク・ステーク部長をも務めて来たのである。

彼のよくその責任を果たす働らきぶりは、十二使徒会補助の重責に召される結果となり、一九五八年四月六日に支持された。

ヒンクレイ長老はすべての教会幹部たちと交際する。稀な特権に恵まれたのである。彼の仕事は彼をしてデビッド・O・マッケイ大管長と親密にさせ、又教会の伝道活動を指示するステフエン・L・リチャーズの直接監督を受けたのである。

ゴルドン・ビットナー・ヒンクレイは、一九一〇年六月二十三日にブライアント・S、及びアズ・ビットナー・ヒンクレイの息子として生れた。若い時に彼は仕事の価値に就て教えられた。彼は自分の家のき場で牛乳しぼりや、果物採取や其他雑用を学んだ。市にあった彼の家の街道を越えた向側に、マージョリ・ヘイと云う美しい女性が住んでいた。彼女はこの謙遜な青年にひかれ彼の鋭敏な知能と手腕を見抜いた。彼等は、一九三七年四月二十九日に、ソルト・レークの神殿で結婚した。ヒンクレイ姉妹は忠実な、献身的な妻であり且母であって現在一九五八年東ミル・

クリーク第四ワード部の扶助協会長を務めている。彼等は五人の子宝、カセリン(二二)リチャード・G(一八)ヴァジニヤ(一五)クラーク(一二)及びシンシャ・ジェーン(六)に恵まれてゐる。ヒンクレイ長老の下に働らいてゐる多くの人が彼の助言を求めその忠告を尊び感謝してゐる。慎重な決断をなす彼はめつたに後悔したことがない。彼は人々を愛しその福祉に大きな関心を持つてゐる。日夜を分たず頻繁に電話が掛かつてくるのである。

最近若い宣教師が重い病氣の爲その伝道地を去らなければならなくなった。彼はソルト・レークに戻つて手術を受けたが、それから病氣が全快する迄、彼は母親と共に病院の近くに下宿した。それは酷暑の季節で部屋は非常にむし暑かった。ヒンクレイ長老は自分の事務室から扇風機をこの長老に送つたのでその部屋は大変気持よりなり、病の苦痛も和んだのであった。

一九三〇年にヒンクレイ長老のお母さんは長い病氣にかゝり、その結果遂に亡くなられたのであるが、その間家庭内に於てヒンクレイ長老は彼女に代つてよく家事の務めを果し、現代の青年には珍らしくやさしい心を以

て至れりつくせりの孝養を尽して両親に感謝されたのであった。

ヒンクレイ長老の天父に対する忠実な信仰は多くの場合に証明された。最近獻堂された神殿に關することをも含めて彼が大管長会によつてニュージールランドに川務を命ぜられて出発する前夜に彼は次のように言つた。

私は病氣で意識を失つて危篤状態にある、私の父に灌油の儀式を執行しましたが、私は私のこの任務が終る迄父が亡くならないであらうことを強く靈感されました。

彼が父は寧ろよくなるであらうと表示したその時より現在に至る迄彼の父の状態は或程度改善されてゐるのである。

ヒンクレイ長老は彼自身の家を建て又改造した多才多芸の人である。彼は技師でもあり又電子をも研究してゐる。彼は特に執筆の才に恵まれ、モルモンとは？及び現第二副管長、ヘンリー・D・モイルの父、ジェームス・H・モトル伝の著者である彼は又多くのラジオ放送及び教会の出版物をも監督してゐる。

彼はその仕事を遂行するに當つて殆ど世界中からの著作者、報告者、事業家たちと会見を行つて來てゐる。彼は報告書を作成したり

手紙を修正したりする為、タイプを打ちながらその眼をタイプから離さずに彼の下に働らいてゐる人々の問題を聞いて適正な判断を与えてゐる彼は珍らしいほど集中する天分を授かつてゐる。ヒンクレイ長老はめつたに人の姓名を忘れない。彼の優秀な記憶力は彼の机上に山積された手紙や老大な資料を彼がめんみつに調べて処置する時によく現れてゐる。

彼の教師専門家としての才能は彼が一九三三年から一九三五年迄の英國伝道を終えて歸つて來た当初によく現された。十代の青少年の一群がワード部の日曜学校の中で大分混亂の状態にあつた。ヒンクレイ長老は彼等の行動を改めさせ、彼等は間もなくこのよき指導者に喜びと靈感をもたらすようになったのであつた。

過ちを犯した若い青年男女に彼が裁決を与えねばならない責任にある時、屢々次のように言う言葉が聞かれた。

「我々は彼等が肉親に顔を合すことが出来なくなるようなことがないように出來るだけ彼等を救い、彼等が自身の罪を贖つて新しい生活を打建てる機会を与えて彼等の將來の家庭に暗いかげがさすことのないようとしてやらねばならない。」



ゴールドン・B・ヒンクレー長老の家族

稀に彼が誰かを叱責

せねばならない責任にある時、彼は諄々として説き、悪いことをした人をして彼の愛と思いやりが如何に真実のものであるかを確信させたのである。ヒンクレイ長老は決して争いを好むような人でなく寧ろ内気な人として知られている。彼のもの静かな態度は彼をして平和ならしむ者たらしめている。

ヒンクレー長老は開拓者の子孫でありその先祖は清教徒である。彼はソルト・レーク市立の学校を出てからユタ大学を卒業した。英国に伝道している時、十二使徒会員となった故ジョセフ・F・メリル伝道部長に特別な任

務を与えられたのであった。

ヒンクレー兄弟は長年の間、伝道部委員会実行委員長を務めて来た。第二次世界大戦中彼はソルト・レークの共同倉庫及び鉄道会社の副会頭となり後にデンヴァー及びリオ・グランド鉄道会社の郵便及び至急便副支配人となった。

この会社で彼は重要な地位にあつたが伝道の仕事を熱愛した為に退職したのであった。彼は多年に亘って教会の文献の翻訳を指示しスペイン語の機関誌「リヤホナ」の編集をも監督した。彼は外地神殿委員会の委員でありスイスへ二度、ニュージーランドへ一度、それ／＼神殿の献堂式に出席し、神殿の仕事の開始を援助する為に旅行した。

彼は記録芸術社の副社長兼理事長であると共に又ユタ・ラジオ・サービス協会(KSL)の理事長である。彼の教会での責任は数多くいろ／＼である。彼は一九三七年から一九四六年迄、デゼレット日曜学校中央委員会の委員を務め、一九三六年から一九三七年にかけてリバティースターキ部のスターキ部日曜学校会長となり東ミル・クリーク・スターキ部長会の第一、第二副会長を経て一九五六年にスターキ部長となった。

伝道部発展の四つの提案

ゴルドン・B・ヒンクレー

(十二使徒会補助)

「皆様こんにちは。これだけが私の云える日本語です。兄弟姉妹の皆様は本日、皆様にお会い出来たことを感謝致します。今日多くの人が話しましたが私には解る事が出来ないのです。しかしこの特別大会のスピリットを感じております。今日みごとに歌いましたLPSコーラスの合唱は非常に立派であると感じています。また、昨夜は昨夜で、ここに上演された催しを心から楽しみました。ここで、皆様の顔を見ると皆様への信仰を増すことが出来ます。」

——中略——
さて、兄弟姉妹よ、私の見ますところ、この伝道部は、今まではつきり申しますと幼年期であると思います。しかし、今は、大人の

時期に入ろうとしていると思います。私は、ここに集う会員の方々に、次の四つのことを提案します。

第一は、どの男性も神権者は、

神権者にふさわしい行動をするこ

とです。教会の本当の力は、神権

者にあるのです。この国にある男

性は誰でも、神権をもらう資格が

あるし、もらうべきです。これは

教養のあるなしでなく、お金のあ

るなしでもない。最も必要な資格

と云うものは、主なる神権に対し

て、この神権を載く資格があるか

どうかと云うことです。私たちは

聖い身と心をもつて生活すべきで

あります。この新しい神権の時代

に主は、この神権を回復した時こ

の回復のために主は、必要な一つ

の戒めを与えた。「主の御名によ

りて、教えをのべる権能をもつこ

と」と。私たちは、バプテスマの時

主の御名を受けました。だから

それにふさわしい人にならなければ

ならない。神権を受けることは

早ければ早い程よい、また神権者

が多ければ多い程教会は本当に力

を増して、強くなるのであります。

私はその時が早く来ることを願っ

ています。この国のあらゆる支部

に於けるところの男性たちが、長

老となる日を待っています。また

その支部がその長老たちによって

管理され、あらゆる日曜学校の会

長が長老によって管理される日を

待っています。このことは、女の

人にとっても責任があります。こ

の教会の家庭の妻は、夫にはげま

しを与えて下さい。子供のいる妻

は、子供が神権を受けられるよう

に教えて下さい。姉妹は、兄弟に

そのことを教えて下さい。ヨロ

ッパでは、その地方の長老によっ

てすべてが管理されています。兄

弟たちよ、主がのぞんでいらっし

やるようにこの教会が強くなり大

きくなるために、日本でもそうで

なければなりません。神権の権能

は祝福の権能です。神権の権能は

教えをなす権能です。神権の権能

は、神の御国を支配するのです。

これは心に誇りをもってなすので

すが、高慢をもって用いるべきで

はありません。神権のスピリット

は奉仕のスピリットであります。

ベンジャミン王がモルモン経の中

で云った言葉があります。またお

前たちが同胞のために務めるの

は、ただお前たちの神のために務

めるのであることを悟らせるため

であると。先づ第一にすべての男

性が神権を受けることが、この国

の進歩を成すのです。

第二は、この教会の会員は、す

べて什分の一と断食献金を納める

ことです。犠牲がなければ、本当

の意味での礼拝はないのです。天

の神様は、独子を下したもうた。

神の独子は私たちに自分の命を下

さした。私たちは、本当に礼拝を

ささげるならば、犠牲をするべきです。アメリカにも、貧民はいま
す。私は或るニュージーランドの
子供を持つ母親と話したことがあ
ります。彼女は、毎朝早く起きて
三十マイルの道を歩いて、そこで
六十頭の牛の乳をしぼって息子
を養い、そして献金する。彼女は今
はソート・レーク市に住んでいま
す。このようにして献金されたお
金は伝道本部を支持するために使
われます。主の祝福を受けたとい
思うならば、あなたたちは犠牲を
はらわなければならぬ。予言者
マラキを通じて主は云う。「わた
しが天の窓を開いて、あふるる恵
みを、あなたがたに注ぐか否かを
見なさいと、万軍の主は言はれ
る」と。あなたたちは、信仰の強
い民となりなさい。そしてこの教
会の人々に、献金を納めるようよ
びかけなさい。これによって、私
たちは、初めて主の祝福を受ける
正しい証詞をすることが出来るの
です。

第三は次のことです。あらゆる

会員は教会の力を強くしなければ
ならない。主は使徒ペテロに云う。

「シモン、シモン、視よ、サタン

汝らを麦のごとくふるわんとて、請

い得たり。されど我なんちの為に

その信仰の失せぬやうに祈りた

り、なんじ立ちかえりてのち兄弟

たちを堅うせよ」(ルカ二二・三

一・三二)と。私たちはお互に兄

弟姉妹の信仰を強めなければなら

ない。それは、私たちの大きな任

務です。あなたたちは愛を持って

お互に集え、私の愛するように互

に愛せよと主は云う。兄弟姉妹よ

私たちは私たちの支部をして、地

上の天国としなければならぬの

であります。神の国にかげ口があ

ってはならない。私たちは私たち

の天国を作るために私たちの全部

をささげて犠牲をはらわなければ

ならない。私たちは新しく会員に

なった人たちには特別の責任をも

っています。かれらに対して兄弟

愛の手をさしのべよ。私たちの手

をのぼして、一つにならねばなら

ない。これは教会の大きな問題で

す。しかし支部では、心からの歡

迎はあまりない。私ははっきり申

します。私たちは責任があります。

教会に多くの人を入れるよりも、

親迎しないことによって、会員を

はうり出すことに責任があると、

私たちの中に罪をなす者があつて

も、ゆるしましょう。これによつ

て、私たちの神の王国は大きくな

り、また、栄えるのであります。

第四はこの教会員一人一人は、

宣教師でなければならぬ。会員

は専任の宣教師と同じ程大切で

す。私たちの責任は大きなもので

す。一度神から警告を受けた者は、今

度は、他の人に警告をしなければ

ならないのです。福音を受けた者

は他の人にのべる責任がありま

す。統計によると、教会に入つて

来る人の六十八%は会員の努力に

よつて入つて来る。先づあなたた

ちの友に話して下さい。友だちで

会を作つて、宣教師を呼びましょ

う。カリフォルニアは世界で一番

改宗者が多く入つて来ます。そこ

では、八十二%の会員が、会員の

導きにより宣教師に紹介した人た

ちです。そして正規の宣教師が、

正規の働きをして三%の改宗者が

入りました。私は、今日、皆様に

一つの挑戦とも云うべきことを申

しましょう。どうか、次の一年に

於て、あなたたち一人一人が、改

宗者をこの教会に入れる仲だちの

力となつていただきたい。ここに

三百人程の人が集つています。あ

なたがた自身の胸に誇りを感じま

せんか、この次の会には隣りにあ

なたたちの友があるように。

ヨネモリ姉妹は、ハワイから来

ましたすばらしい婦人の宣教師で

す。彼女は、日本人の学友から福

音を聞きました。自分に大きな働

きの出来ることを知りなさい。あ

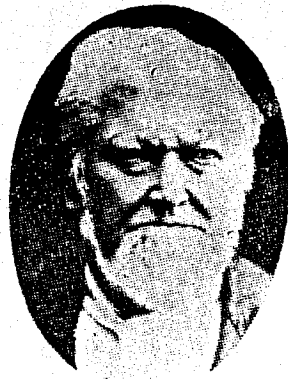
なたは、何人を改宗者させました

か?」この質問を私は、したこと

があります。ある宣教師は、二年

間、七十八人にのぼる。

私の改宗



ウイルフォード・

ウッドラフ

である私を残して千八百八年一月十一日に死んだ。

千八百三十三年十二月二十九日に私たちの家に末日聖徒イエス・キリスト教会の二人の長老が来た。彼等はゼラ・パルシファア及びエライジャ・チェニーであった。彼等が来た時、私は兄のアズモンと屋外で日常の労働に従事していた。けれどもアズモンの妻は長老達を親切に受入れ私達が彼等の説教を聞く熱意があることを示した。私が家に着くと義姉は集会を知らせてくれた。私は夕食もとらないですぐ学校へと馬を走らせた。途中私は心から主が彼の御霊を私に注いで若しこれ等の人々が神の召使であるなら私はそれを知り私の心は彼等の与える神聖なメッセージを受入れるように準備出来るよう神に祈った。私が集会所に着いた時、私は家が既に一ぱいになっているのを見出した。私の兄のアズモンは私の着く前に既にそこに居た。彼も私と同様に熱心にその人達が何を言うか聞こうとしていた。私は群集をかき分けて、すべてが見える机に着席した。パルシファア長老は祈りを以て開会した。彼はひざまづいて、イエス・キリストの御名によって彼の要求していることを求めた。彼の祈る態度に非常な感銘

私は一八〇七年三月一日にコネチカット州ハート・フォード郡、ファーマントンと言う町で生れた。私の父はアフエク・ウッドラフで彼は一七七八年十一月一日にコネチカット州のファーマントン市でエルダッド・ウッドラフ大尉とダイア・ウッドラフの息子として生れた。このエルダッド・ウッドラフは私の祖父でヨシユア・ウッドラフの息子であった。ヨシユア・ウッドラフは凡そ百才まで生きていた。彼は鉄の如き頑健な体格の持主で死ぬ時迄数多くの手仕事を続けていた。ヨシユアはアメリカにやって来た私の家族の最初の人であるアタイ・ウッドラフの息子である。私の祖父のエルダッド・ウッドラフはヨシユアの三男である。彼はコネチカット州ハー

を覚え又大いなる靈感を与えられた。主の御
霊が私の上に留って、彼が神の僕であること
を証した。歌い終ってから彼は一時間半に亘
って人々に説教した。彼はモルモン經典の聖
なる真実性を立証し予言者ジョセフ・スミス
の使命に就て強い証詞を立てた。私は長老た
ちの手によって、バプテスマを受けることを
求めた。千八百三十三年十二月三十一日朝十
一時に河辺に多数の人々が集った。私はゼ
ラ・バルシファ―長老によってバプテスマを
受けたのである。同時に私の兄アヅモン、又
一日前に癒された二人の若い婦人も受けた。
雪は三呎も積り日は寒かった。そして水には
氷と雪が混じっていた。けれども私は冷たさ
を感じなかった。その夜はろうそくの光で大
きな集会が開かれた。長老達は、按手札に就
て説明した後、私及び仲間の上に手を按いて
教会の会員に確認した。聖霊が我々の上に降
り我々は大いなる喜びの一時を持ったのであ
った。



極東に於けるモルモン

私の改宗

阪本 晴子

(岡町支部)

一九五〇年の六月の今日、どんな気持ちで十
三支部（現在は岡町支部と改名）の日曜学校
に足を運んだことでしたでしょうか？ その
年の三月の中頃、十三駅前での街頭伝道の折
にこの教会を始めて知り半ば英語の勉強も出
来ると思ったのがいつわらざる最初の気持ちで
した。

バイブルクラスに入っている中に何が一番
大切なものであるか本当に解り出して、福音
を学ぼうとする気持ちがいや増しに深くなりま
した。当時即ち十年前は過渡期にありました
ので福音を学ぶ傍ら、教会を持たぬ為の種々
の苦勞がありました。その為かえて、長老・会
員・求道者の間に人格的の密接なふれ
合いが多く、強く手を握り合ってそれらの困
難な問題が我々に投げかけられる毎に福音の
実践の場として耐え忍び合い、個々に成長し

てゆきました。こうして息づまる様な緊張の
連続の四ヶ月間はたちました。この間に受け
た長老からの言葉、訓戒を思い出すだけで私
の心はいつも「頑張れ、抜くのだ」とさゝやき
ますので勇気がわいて参ります。そしていよ
／＼八月十三日、私に真の神の道を示して自
己の罪を認める様悔い改めをすゝめ、又輝か
しい将来の扉の聞き方を教えて下さった厳し
く思慮深いボヤック長老からバプテスマの式
をうけ教会員として確認されました。直ちに
責任を与えられまして以来、中学校教師の本
職と共に遮二無二頑張り続けて参りました。
母も私の翌年バプテスマをうけましたので親
子共に日曜学校其他の集会に参集する事が出
来、同じ宗教を歩む幸を感じて居ります。
旧約聖書で御承知の如く、ヤコブがラケル
を得ようとして七年の期間働いた如く、智慧

の言葉の約束通り私の身体が強く改善された
一九五七年六月、松本弘兄弟（長年背ずいカ
リエスの為病床にありましたが奇蹟的にも現
在では全治致して居りやす）と結婚致しまし
て翌年五月の一日純子が誕生致しました。彼
女は長老の祝福をうけ、本当に身心共に健や
かに育つて居ります。そして此頃はこんな会
話が交せる様になりました。

「純子ちゃん、日曜日どこへ行くの？」

「教会」

「誰と？」

「母ちゃんと」

「教会で何するの？」

彼女はすぐに高い所へ上って音楽指揮の真
似を得意そうに一しきりやります。

あゝ何と私は幸な事でしようか、この教会
の真実さは私の歩んできたこの十年間の体験
からしみじみと証する事が出来ます。

そしてハンナがサムエルの為にエポデを経
った気持を身を以って経験出来る日を祈り求
めています。

（一七五頁より）

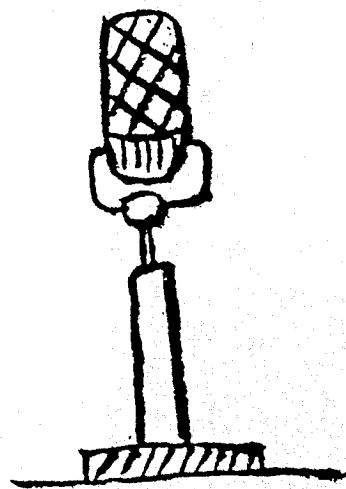
間でたった一人の人を改宗させました。

しかし、今では、その会員は八十人も
自分の改宗者が居ると云います。自分
の友が入ることはどんなにうれしいこ
とでしょうか、山の上から雪だるまをこ
ろがすように、これは大きくなります。

この教会に改宗させる程大きなよろこび
はない。主は必ずその人に祝福を御与え
になるのであります。そしてあなたたち
は言葉に絶するよろこびを感じるでしょ
う。私たちには多くの戒めがあり、又こ
れからも戒めが与えられます。ペテロ曰
く「されど汝らは選ばれたる族、王なる
祭司潔き国人、神に属ける民なり、これ
汝らを暗黒より召して、己の妙なる光に
入れ給いし者のほまれをあらわせん為
なり（ペテロ前二・九）あなたたちは神
に選ばれた民である。これはエレミヤの
予言が成就されることのしるしでありま
す。これらが、神の御業であることを証
詞します。神様は本当に生きていらっし
やり、イエスは真にキリストであり、ジ
ョセフ・スミスが神様の力を与えられた
予言者であることを証詞します。デビッ

ト・O・マッケイが、真の予言者である
ことを、アンドラス伝道部長が、神より
召されたことを、又、ここに新しい二
人の副伝道部長も、神に召された者であ
ることを証詞致します。あなたたちの上
に神の祝福のあるように。家庭に平和が
あるように、愛があるように、また福音
を宣べることによって、祝福されるよ
うに祈ります。この会堂の人々に感謝中
し上げます。また翻訳者の佐藤竜猪兄弟
に感謝いたします。この次会う時は、何
千人の人々と会えますように。すべてを
主のみ名により アーメン。

（一九六〇年五月二十九日、東京、日
消ホールにて）



眞若渝、大方無隅、大音希聲、大
象無形、

高橋五郎とその著書

摩兒門教と摩兒門教徒

教モ_ニ亞米利加上人起原論

高橋五郎著

大塚昌治

モ_ル第一章

天下の最大疑問

嘗て國會議場に宣誓を拒みて退場を命ぜられたるを以て其名一時天下に喧傳せし無神論者ブラッドラウ(Charles Bradlaugh)氏は今や英國のインガソル(Ingersoll)となりて、

米人牧師S・R・ブラウンは聖書の邦訳に明治七年三月ヘボン、グリーン、奥野昌綱、松山高吉らと共に着手したが、その助手として特に著しい功績のあったのは高橋五郎氏であった。

高橋五郎―彼は明治、大正、昭和の語学者翻訳家、批評家であり訳書にブルタークの英雄伝ベークン論文集フアースト、カーライル仏蘭西革命史、モンテーニニ論文集などがある。

新潟県の柏崎の生れで安政三年三月二十日、亡くなったのは昭和十年九月七日、年八十であった。十四才のとき出郷し、高崎の市川左近に漢学、田中毛野に国学を学び、近郷に住んでいた牧師再竜について仏書を読んでいる。

洋学修業を志し、上京してからは諸方塾に入り、のち植村正久と知己を得、ブラウン牧師を知るようになり、ブラウンのもとで英・仏・独の諸外国語をマスターした。明治十三年「仏道新論」を刊行し、彼の名は始めて世に知られるようになった。ついで「六合雜誌」「国民の友」に哲学、文学に関する論文を寄稿し、批評家として名声をえた。

明治二十五年井上哲次郎が「教育と宗教の

衝突」というキリスト教排撃の論文を発表するや植村正久、大西祝らと共に奮然とたちあがり「偽哲学者の大僻論」を公に発表、非上博士を反ばくしついに屈辱せしめている。

この頃の十年間が彼の絶頂期であり「モルモン教とモルモン教徒」なる著書を公にしたのも実にこの頃である。高橋五郎氏と教会との関係はヒーバー・J・グラントのものの大管長との友情によって始まる。彼はモルモン教を攻撃する新聞や牧師たちに対し嘲笑的な記事を新聞紙上に発表した。それを知ったグラント長老は高橋氏を食事に招待したのである。当時のこの出来事については日本伝道部の歴史を書いたマレー・ニールス長老は次のように記している。

『高橋五郎氏は日曜日の夕食会には必ずお客様として招待された。彼は批評家で、上流階級の人たちの間でも有力な人として認められていた。高橋氏はモルモンの宣教師を攻撃する新聞や牧師たちを嘲笑する記事を新聞紙上にのせた。これを知ったグラント伝道部長（後の第七代目の大管長）は高橋氏を招待して食事を共にし、この時から二人の親交は深まっていった。二人は長い話を取り交わしたが、グラント伝道部長は一冊のモルモン経と

その他の文献やソルト・レーク市の写真などを高橋氏に手渡した。高橋氏は自分が新聞紙上に書いたものよりはるかに教会のためになると信ずるから、モルモン教会について一冊の書物を書きましよう」と提案した。彼は出版の費用を自分で支払いをし、この書の売上げによって返済してくれば良いと云った。このようにして、高橋氏は契約書を書き、著述の事業が始められた。

高橋五郎氏によって日本語で書かれた「モルモン教とモルモン教徒」は一九〇二年八月二十日に出版され、宣教師の働いている全地域の書店はこの書物の販売を行った。三百六十二冊は貴族院の議員に配布され、更に八冊は貴族院に關係している役人たちに手渡された。最初高橋氏は、グラント伝道部長に原稿を校正してもらうためその原稿を見てもらいたいと述べていたが、後になって、その意向をとり止めて、グラント伝道部長に見せずにこの書は出版された。それは、若しこの書がモルモン教徒に關係のない彼自身の言葉でかかれたとすれば、それは人々により大きな影響を及ぼすであろうと、彼が感じたからである。グラント伝道部長は後になってソルト・レーク市の教会の大会で「この人は、われわれ

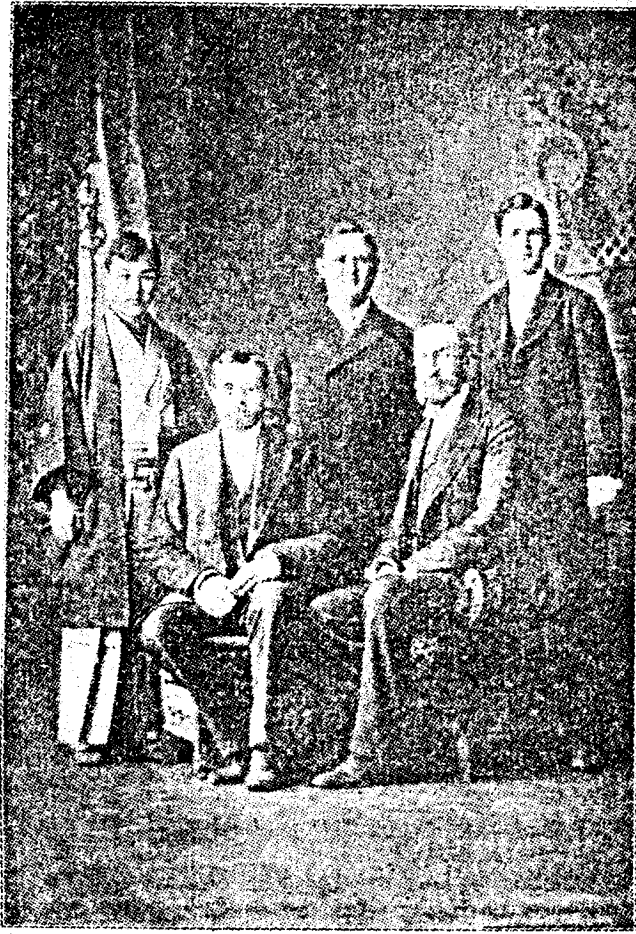
のためになると信ぜられる書物を書いた」と述べている。

其後、テイラー伝道部長は高橋氏について次のように述べた。

「全体として、この書は信頼し得る書である……我々は高橋氏の意見や、また比較検討に対し何ら責任を持たない。我々は高橋氏の書物をモルモンの文献として売ったり、与えたりしないが、モルモン教徒が自分たちについて何と云っているか、またモルモン教徒の敵がモルモン教徒について何と云っているかということを立場として書いた、非モルモン教徒の著作物として、この事を売ったり、与たりしているのである。」

ソルトレークに於ける教会の大会でグラント大管長をして「われわれの爲になると信ぜられる書物を書いた」と云わしめ、テイラー伝道部長をして「全体として、この書は信頼し得る書である」と云わしめたこの書物の内容は一休どんなだろうか。第一その書物はどこかに保存されているものだろうか。

これらの疑問に対し今日我々は恵まれて伝道部に一冊の保有があるということを読者に解答したい。それはウォールベック長老が東京の杉並の古本屋からさがし出した大切な一



モルモン教とモルモン教徒書中の画、左前より
ケルチ・グラント、後列右テラー、後中エン
サイン、後左はおそらく高橋五郎氏かと思うが
はつきりしない

冊であり、帰国するとき長老に強引に頼み借用したものである。「借用した」とあえて云わねばならぬことはこの書物を有志で再版しその一冊を送るという約束がついているからである。

(私は柏崎市役所から高橋家の戸籍をとりよせて直系の子孫を捜し出してみたが失敗した。勿論直系ではないが傍系の子孫は高橋氏の本籍地に現存している。どなたか高橋五郎

氏の版權を所有している方を知らないだろうか)さて次にこの書より興味を引く所を序文より引用し紹介してみよう。

『宗教の存亡はこれを長遠の才月に問はざるべからず。今モルモン教の勃興したるものたぐいのみ、その真妄は深奥の研究を待つて決せざるべからず。しかしもし真ならば永く天下に存すべく、もし妄ならばついにあとを世界に絶たん。該教はすでに迫害のルツボ

を通過し来りぬ。今よりはまさに研究攻撃の

ルツボに入らざるべからず。本書のごときはすなわち該教をこの第二のルツボに紹介するものとす。あえてこれが真偽を証明したりとは言わず。もしなにものか証明し得たりとせば、幾分かこれジョセフ・スミス、ブリガムヤング等が十九世紀における非凡の人傑

―即ち英雄―たりしを証明し得たるものというべし。カーライル曰く其の何種たる論ぜず古来億兆に師となりし者、万人に安心立命の地を得せしめし者は真しを以て本色とす」と。

しかし皆血涙をそいで天下の為に身命を致せる者ならざるはなし、さればジョセフ・スミスもって一箇の瞞着家、欺騙家となす輩のごときは単にこれ己れが年しようの小人たることを証する者というべし。小はもとより以て大を容子あたはず。ミルトン曰く

「群雀はけんけんごうごうとして靈鷲の天をつくを怪みかつあざける」と。真にしかり、真にしかり、書して以て自ら戒む』

明治時代の格調高いこの文章は最後の頁まであく事を知らぬが如く面々と続いて行く。序文に続く総論に於いて

『モルモン教の信妄はモルモン経の信偽い

かんによりて決す。故に余輩は最も綿密にこ

―181―



本書中の写真の一つ ヒーバー・J・グランドの家族

してこれを説かしたるを最も善しとす。
靴屋は靴外に出る勿れ』

と批評家としての立場を明らかにし、自ら綿密に研究することを努めたと云うだけあって、実に綿密にモルモン経を研究したらしいあとがこの書には現われている。特にアメリカの古代史の研究は実に優れており、最近インカ文明、マヤ文明、アズテカ文明が日本のジャーナリストによつてそのごく一部が紹介されているが明治時代に於いてすでに彼は今日の専門の古学者以上の研究をし、ついに「モルモン経とは其性質基督教のバイブルに等しくして即ち歴史と予言と鑑戒とを兼ねあわせたものとす。しかうて其の中に於る最も大胆なる部分はそれが歴史に関する所に在りと謂はざるべからず。なんとすれば其歴史は是れ直ちにアメリカ太古史及び古代史なるが故なり」(七十五頁)と結論しているのである。

次にモルモン教徒の迫害の点について彼は「老成を以て自ら居れる第十九世に於てしかも文明を大いに誇る所の邦国に於て殆んど無政府的なる暴挙兇行をほし、いよいよしもつて其異端視する所の人々をきん迫し、暴民を使

そうしてこれが生命を絶ち、これが家屋を焼きこれが財産を奪い、果てはこれを万里の外なる広野に駆り遂にこれを虎狼土人の巢窟たる山間に逐いしかして政府はこれをおいて問はず、法官は遁辞を設けていいのがれ、上下こん然として怪まずいふからず、却つて公然太日を挙げて互に相祝賀するに至りては、其害毒あにたゞ足尾鉍毒の類のみならんや、実に言語道断の野蛮行為と謂はざるを得んや。吾人は真理の為人権の爲め自由の爲めに切歯憤慨さざるを得ざるや。あゝ固陋なる狂信の弊、当同伐異の害もまた是れ甚だした者なるかな」(五頁、七頁)と記し、モルモン大隊については

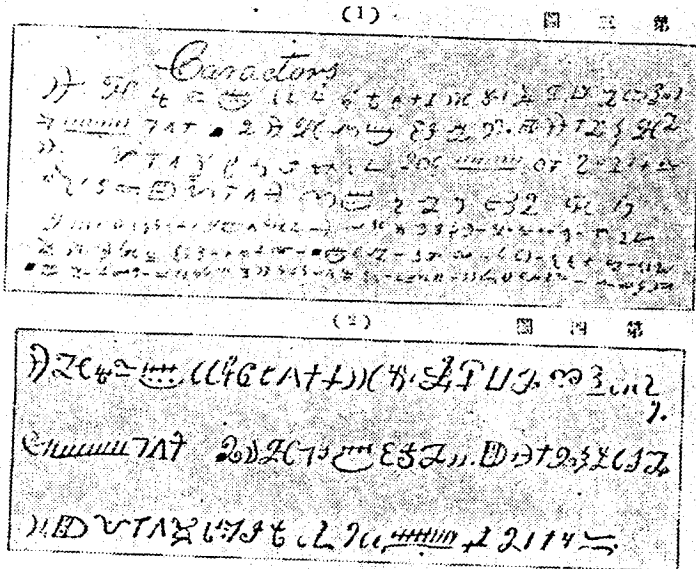
「一八四六年モルモン教徒選ばれてノーブ市を退去し今方にアイオワの広野に浅忍なる土人の間を通過せんとしつつある失先ぎにへきれき一声合衆国政府はメキシコ戦争に使用すべき兵士にとて五百余名の壮丁をこの困頓極まれるモルモン教徒間に徴発せり。ああ政府何の顔ありて此の無情なる事をなせしぞ。該教徒が差出せし再三再四の保護請願をば度外におきながら今にわか之が最必要なる壮丁五百を奪い去らんとはああ大逆無道もここに至りてや殆ど名状するに言葉なからん

とす。あまつさへ元老議員ベントンの如きは恐喝して曰く、彼等若し此の徵発に応ぜずんば、不忠の叛民として之を全滅せし出べしと。然れども「皆善し皆宜し」を主義とせるモルモン教徒はまたも甘んじて服従せり。一八四六年七月ブリガム・ヤングはすなわち直ちに此の要求に應ぜんことを約し、己れには百万不自由を来たしながらも、己が今後の征途を痛く危険ならしめつつも、愛国の為なればとて、五百四十九名壯夫を選出し、大に其の行を壮んにして之を遣り遣りぬ。しかし彼等兵士は二千哩の広野をばつしようにし、一八四七年一月二十九日カルフォルニアに到り着けり。ああ文明を訪れる十九世紀の中頃にもかくの如き蛮行の公然なされんとは、アキレたる世の中なるかな。然るに論者は尙強弁して、曰く、是れ合衆国政府がモルモン教徒をあわれみて、其幾分をなりとも官費にて西征せしあやらんとの好意より出でたる者なりしと!!ああ。(二百十二頁〜二百十四頁)

教会の役員と宣教師制度についても正しく次のごとく記している。

「労働を以て神聖なる者と為すが故に管長を始として皆労働に従事し、只日曜日に於て講壇の上に福音の道を宣言するのみ。諸他の

伝道師、宣教師皆然りブリガム・ヤングの如きも週日(日曜以外の日)に於ては山谷に丁々と木を伐り河辺にししと水車を運転せり。



シヨモフ、エミスの手寫に照る者

摩門教改訂者ノムが、*にて寫し來しと稱る者

実にモルモン教徒間には俸給を受けて宣教師たる者一人も有ることなし、皆自給とす。ただ或は教友若くは教会に於て其留主宅に浅れる

第三章モルモン經と考古学中の第三、第四図

家族を扶助することは時にこれ無きにもあらじ(然るに日本人中この習慣を知らずして彼等のやとわれ伝道者とならんと求る者多きは氣の毒千万なり)これあに良制美俗ならずとせんや。またこれ初代に於る基督教会の遺風なりけらし(二百四十二頁〜二百四十三頁)

また日本人がモルモン教徒になるのに最も今だに困難としている十分の一については予言的に

「什一税法はアサル(assat)またはマアサル(masat)と曰ひてユダヤの国にモーセの律法に循いて起りし者なるが、該国にても後にはあまたの意納者を生じたることマラキ書中につまびらかなるが如し、欧州のキリスト教国にても昔は此の法広く行はれしかども、今日は有名無実なる者となりぬ。いわゆる什分の一税盜今や天下に滿つ。このさいこれを真面目に甘じて実行しつつあるはモルモン教徒のみ。彼等が信仰の如何に堅固なるかは此一事にても知らるべし。想うに我が國人がモルモン教を容るるに最も困難とするはけだし此の什分の一税法なるべし(二百四十六頁)と記している。

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹

(六)

ジョセフ・フィールディング・スミス著

第二部 時満ちたる神権時代の開始

第四章 回復の必要

四、ダニエル今日を先見する。ダニエルはバビロンの大王の宮廷にとらわれとなって移されていた間に今日を先見し、またいと高き神の聖徒に与えられるべき王国を設立する業を先見した。この聖徒たちに王国は「とこしえよりとこしえ」に与えられるはずである。またダニエルは驚ろくべき構造をもった像を見たネブカドネザル王の夢の解き明しの中でこれと同じ出来事を確認した。それは末日にその像の足の指が代表する国々が支配を受ける時に起るはずである。その日天の神は「いつまでも滅ぶることなく、または他の民に帰せざる王国」を建てたもうにちがいない。

五、ヨハネの見た示現。ヨハネもまた「地に住むもの

すなわちもろもろの国、やから族、くにことば国語、民に宣伝えんとて永遠の福音をたずさえ」て中空を飛ぶ一人の天使によって福音が宣べ伝えられる時のあるのを見た。その天使は「大声にて言う『なんじら神を畏れ、神に栄光を帰せよ。その審判の時すでに至りたればなり。汝ら天と地と海と水の源泉とを造りたまひし者を拜せよ』」と。民が主の御教えから背き悔改めをすすめる呼び声を必要とした末日にもこのことが起るはずであった。それはこの天使に「バビロンは倒れたり、倒れたり」と呼ぶ別の天使がつづくはずであって、バビロンは倒れる前に警告を受けて悔改めの機会を与えられるはずであったからである。

六、ジョセフ・スミス神の召しを受ける。従って、誰かが選ばれて天の御父から権能を附与され、地球上にイエス・キリストの教会を再び樹立することが必要であった。この「人の子らに今や出で来らんとする不思議なる驚嘆す

べき業」の頭に立つ代表者を選ぶに当って、主は學問やこの世の仕来りきたりに精通している者をお選びにならなかった。神のやり方は人のやり方でなく、また神の考えは人の考えに似てもない。この世の學問を教わった人は、数々の慣なづわしや人間の造った哲學を忘れて正しいことを覚えるために要らないことを持ちすぎていることであらう。主はその偉大な知識によって、世間ずれのしない小供すなわち十四才を超えたばかりの少年を選びたもうた。主はこの若者に完全なままの福音を啓示したもうたが、世人は不信仰のためこれを受け入れようとはしなかった。この若者ジョセフ・スミスは主の御前から遣わされた使者たちから教えを受けたので数年間天からの導きを授かり、福音を回復する事業と神の王国を建てる事業とを指導する準備ができた。

第五章 ジョセフ・スミスの家系

(千六百三十八年—千八百五年)

ジョセフスミスの家系。 ジョセフ・スミスは千八百五年十二月二十三日、ヴァーモント州ウインゾル郡シャロンで生れた。彼は父親のジョセフと母親のルシイ・マック・スミスとの間に生れた十人の子供中の四番目であつて、三番目の男の子であつた。彼の両親はたくましいニューイングランドの血統に属し、正直で神を畏れ勤勉であつたがこの世の物には乏しかった。ジョセフ・スミスは父方の血統

から言うと千六百三十八年に英國から移住して来たロバート・スミスの子弟であつた。このロバート・スミスの家系については今のところ何の記録もなく、また彼が英國のどの土地から来たかも現在知れていない。ただ解っているのは、彼が若年のころリンコンシャーのボストンへ行き、そこから更にロンドンへ行つて船に乗りアメリカへ渡つたということだけである。彼はマサチューセツツ州のボストンに上陸し、それから後年ボックスフォードの町となつたエセックス郡のローリー地方に移つたが、後になつて彼は一部分がトップス・フィールドの町に在つた二百八エーカーの土地を買つた。彼はミス・メアリー・フレンチと結婚して十人の子供があつた。このロバートは性物静かで謙遜であり、部落の福祉のためには身を捧げる人として隣人の間にその名が知られてゐた。彼は勤勉に働いたので自分の家族のために何ほどの楽しみを与えることができた。彼の家族は当時一般に行われていた宗教上の教えの中で育てられたが、聖書の知識についてはきびしく教育された。

二、サムエル・スミスの愛国的功績。 このロバートとメアリーとの間に息子のサムエルが千六百六十六年一月二十六日に生れた。サムエルはトップス・フィールドの町では指折りの市民ジョン・カーチスの娘レベカと結婚した。そして父親が亡くなつてからサムエルはトップス・フィールドに移つてその町の勢力家となり教種の重い役を引き受

て町の人々から尊敬された。サムエルには九人の子供があったが、その中のサムエルという息子は千七百十四年一月二十六日生れてトップス・フィールド屈指の町民であった。このサムエルは一生の大部分を国民のために奉仕して過した。彼はアメリカ革命の多事多端な時代を身を以て経験し、国民の自由を守るために武器を執った。彼は多くの地位についたがその中のいくつかを挙げると次の通りである。

千七百六十年大陪審員、千七百七十年道路監督、千七百七十九年・千七百八十年・千七百八十三年・千七百八十四年・千七百八十五年公安委員、千七百七十年から千七百七十七年までおよび千七百八十一年から千七百八十二年まで裁判官顧問およびトップス・フィールドの陪席判事兼都市行政委員、千七百八十三年名誉章を受けることを辞退、千七百五十八―七十年、千七百六十二年・千七百六十四年・千七百六十六―七十年・千七百七十七年―八十年および千七百八十二―八十三年調停者、千七百六十四―七十年、千七百七十二年、千七百七十七―七十八年および千七百八十一年普通法廷の代表者（下院）、千七百七十四年・千七百七十六年・千七百七十七年町書記、千七百七十四年十月十一日コンコードに於ける地方議会への派遣委員、千七百七十五年一月十九日再度派遣委員、千七百七十三年トップス・フィールドよりの茶委員会の委員長。

彼はサムエル・スミス大尉として人に知られていたが、この陸軍の肩書は彼がマサチューセッツ州の義勇軍に服役していたうちに得たものである。彼はトップス・フィールド町のザケウス・グールドの娘ブリッラと結婚した。二人の間には五人の子供すなわち二人の息子と三人の娘とがあったが、母のブリッラは五人目の子供を生んで間もなく亡くなったので、サムエルは最初の妻と同じ名前の妻のいとこと結婚した。サムエルは千七百八十五年十一月十四日に世を去ったが、英貨五百四十四ポンド以上の価値がある財産をのこした。千七百八十五年十一月二十二日にサレムガゼット紙は彼に就いて次のような記事をのせた。

「逝去。―サムエル・スミス殿は今月十四日、月曜日、トップス・フィールドにて逝去せられたり。公私共に於て氏が明瞭に表わせしほどの温厚且つ立派なる性格は、氏の追憶を常に尊きものとなすに相違なし。氏は多年にわたり普通法廷に於て当町の代表者となり、そこに誠実正直なる人として重んぜられたり。氏はひととき直接に親交ありし人々の間にて衆に勝れて有用なる人物なりき。また氏はわが国の自由にとりて誠実なる友人にしてキリスト教の教義を守るためまざる擁護者なりき。義人の追憶に祝福あれ」。

三、ジョセフ・スミスの祖父アセル・スミス。アセル・スミスは二代目サムエルの二番目の息子で末子であった。

彼は千七百四十四年三月七日にトップス・フィールドで生れたが、前に述べたように母は彼を生むと間もなく世を去った。彼は若いころをトップス・フィールドの町で過したが、千七百六十七年の二月十二日ニューハムプシャー、ウインダムのメアリー・デューティを妻にめとり後にその地へ移った。彼はそこからダンバートンへ行き、それから今マンチェスター市になっているデリーフィールドへ行つた。「革命」中には名声の高かつた彼の父の手本にならつて彼は植民地軍に加わつて軍務に服した。千七百八十五年に父が亡くなつてから彼はトップス・フィールドへ帰り家族の所有地に家庭をつくつた。そして町から一マイルばかり北にあるその古い家に起臥した。そこで多くの子女が生れたが、中でも著しいのは予言者ジョセフ・スミスの父ジョセフの生れたことである。

アセルは当時の時代よりもはるかに先んじた非常に自由な考えをもつた人であつた。子供たちの中には組合教会の会員になつた者もあつたが、彼自身の宗教的意見では普遍主義者の教えに傾いていた。しかしながら、彼は聖典に關する自己の理解を多くの教派の相争つてゐる信条と一致させることができなかったからすべての教派から超然としていた。彼は万人が圧迫されない平等な宗教的自由を持つべきであるという真理を非常に強く先に立つて唱えた。彼は自分の意見を述べるときには腹藏なく明白に述べ、隣

人の一般意見などおそれることなく自己の思うところを言ひ表わした。また彼はいくらか文筆の方にめぐまれ立派な所感を多少書いたが、これは今も保存されて彼の家族の所有になつてゐる。彼は亡くなるずっと前に家族に与える一つの説示を書いたが、その中に記してある忠告は今日でもなお両親や子供たちがこれに従つたならば大きな利益を受けるであらう。この文書から今一つの抜萃を試みるが、これはこの著者の本當の性格を知らせ、また彼がイエス・キリストに非常な信仰を抱いてゐたことを描き出してみせるにちがひない。

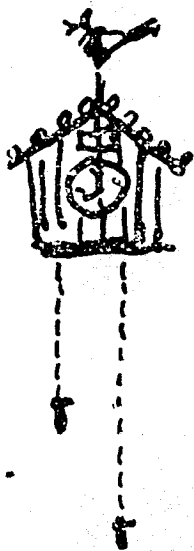
四、アセル・スミスが彼の家族に与えた忠告。「而して、まずわが愛する妻に言う。そなたが私に尽してくれた親切と忠実とに対して私はもてる力の限りを尽して感謝をし、またそなたに氣をつけそなたを見捨てもせず見放しもしたまわぬよう寡婦の夫なる神に乞ひ願ひ奉る。或いはまたそなたをして神をも神の道をも見放したりさせぬようになしたまわんことを。全く心から神を信頼せよ。神は神を信頼する者を見捨てたもうことなく、またこれからも決して見すてたもうことなし。……さて私の愛する子供らよ。わが心の思いをお前たちに注いで、まずお前たちの靈の中にある不死不滅について語らしめよ。この点を軽んずるなかれ。靈はこれ不死不滅である。お前たちは「無限なる神」と交渉をもたねばならない。従つてこの点真剣でなく

てはならぬ。神に対してすべてをまじめに行え。神のことを考え、神のことを語り、神に祈りまた如何様であれ偉大なる神に話しかける時には真剣であれ。神の御名または神の特質を軽々しく取扱うな。絶対の真理以外に何事も神に誓うな。また健全な理性が重要な事柄が必要とする時のほか神に誓うな。また宗教に就いては、お前たちに対して何ら特別な道を指摘したいとは思わぬが、まずお前たちが聖典を調べて健全な理性に訴え——この二つは全世界を統べたもう神を支持する二つの証人であると私は考えるが——宗教が必要な主題であることをこれらがお前たちに充分証明するに足らぬかどうかを知って欲しい。……一般の方々に申す。あなた方が自由の国に住み、自己が属している権威者に対して忠実にまた良心の命ずるままに行動することを神に感謝したまえ。聯邦政府の命ずるところに神の御旨を知れ。また連合と秩序とを貴重なる宝石と思いたまえ。

五、アセル・スミスの予言。 千七百九十一年の春に彼はトップス・フィールドからヴァーモント州のタンブリッジに移り、そこで数年の間家庭を営んだ。年をとるに及んで健康が衰えたので彼はニューヨーク州セントローレンス郡ストックホルムに居を移し息子のサイラスと共に暮した。千八百三十年十月三十一日ここで彼は八十六才の高齢を以てその生涯を閉じた。彼は身長が高く、釣合いのよくとれた身体で非常に力が強かった。折々彼に靈感の「みたま」

が宿った。或時彼は「私は自分の子孫の一人が信仰の世界に大変革を起す業を広めるにちがいないことを確信している」と言った。おそらく彼はその日まで生き永らえようとは思っていなかったろうが、彼の言葉は事実となった。真の教会が組織された年の夏、彼の息子のジョセフと孫のドン・カルロス・スミスとは彼を訪れてモルモン経を一部贈った。当時彼は衰弱していたけれどもモルモン経の大部分をくわしく読んで、彼の孫であるジョセフ・スミスの事業は神から出たものであることを確かに信ずると言った。彼は身体が衰弱していたためにバプテスマを受けなかった。そしてこの訪問を受けてから間もなく此世を去った。彼の妻メアリー・デューティ・スミスは後にカートランドへ移り、回復された福音を聞く信じながら千八百三十六年にここで亡くなった。

(佐藤龍猪訳)

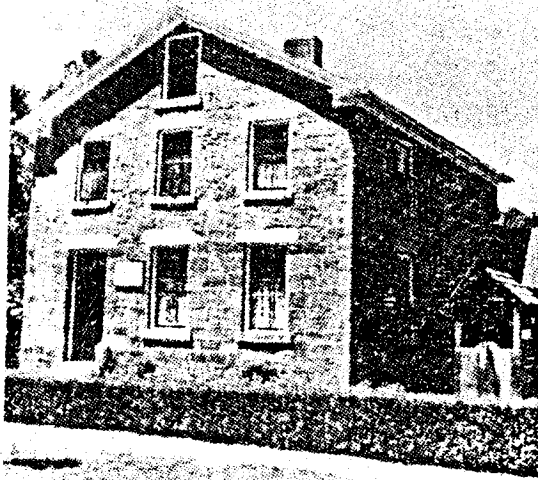


予言者ジョセフ・スミスと

ハイラム・スミスの殉教

「彼は羊の屠場に就くが如く曳かれ、羔羊のその毛を剪る者のまへに黙すがごとく口を開かず」

昔の予言者の言える如く、主は天父の御意に見にそうて万人の爲、尊い贖いの血を十字架上に流されたのであった。



カーセージ監獄

それから一八一〇年
を経た一八四四年六月
二十四日の朝、末日の
予言者ジョセフ・スミ
スは

「我は今屠場に曳か
るゝ子羊の如く行く、

されどわが心は夏の朝日の如くにおだやかなり。わが良心は神に對し又すべての人に對し
いささかの咎めもなし。我は罪なくして死な
ん」と言つてカーセージの監獄に向つたので
あった。この数日前に彼の近辺の者が彼にカ
ーセージの法廷に立つように勧告した時彼は
「既に人に必要でない自分は、如何で自分
に必要あらうか？」

と言つて自らを逮捕者の手に委ねソクラテ
スの如く従容としてその毒杯を呑んだのであ
つた。

殆ど同時に命中した暴徒の三発の銃弾に倒
れた彼の口から「おゝ主よ 我が神よ」と、
神を呼び求める声が聞えたのであった。そし
てこの末日に完全な福音を回復すべく召され
た偉大な予言者の多難な三十八年半の此の世
の生涯の幕が閉ぢられたのであった。

本月の二十七日がジョセフ・スミス殉教の

一一六週年になるが、我々はここに再び偉い
彼の殉教を思い起して見よう。

一八四二年五月六日の夜、ミズーリ州の前
知事リルバン・W・ボクスが彼の家に坐つて
いた時、何者かにより窓よりピストルで襲撃
され重傷を負うた。ピストルは地上に発見さ
れたが犯人容疑者は捕えられなかった。ボク
スの生命は一時あやぶまれたが漸次回復して
来た。彼はモルモン教徒追放の主要な役割を
なしたので直ちにこれはモルモン教徒の仕業
であるとの噂が広まつた。前知事は何等判然
たる根拠もなく教会の会員である、オー・ビ
ー・ロックウエルを犯人として告訴状を作成
した。次いで彼はジョセフ・スミスを共犯者
だと誹謗する二番目の訴状を出した。そこで
ミズーリ州知事はイリノイ州知事にジョセ
フ・スミス及びオー・ビー・ロックウエルを
ミズーリ州の代表者に引渡すよう要求した。
逮捕令が出され彼等は捕えられて身柄提出
令状による裁判の結果釈放された。ミズーリ
州の予言者の敵共の計画は失敗したが彼等は
容易に挫けなかった。其後これと歩調を一つ
にする教会内部よりの盲教者たちの策動によ
り遂に見ハイラム・スミスと共に自らを捕縛
の手に委ねるに至つたのである。その少し前

にジョセフ・スミスは自分の亡き後を憂えてバイラムに、家族と共に難を避けるように勧告したが、ハイラムはジョセフを一人行かすことを肯せなかつたのである。

第三代目の大管長ジョン・テイラーは逮捕令に指名されて居らなかつたのであるが、予言者を慕うあまり最後迄、その側を離れなかつたのである。又リチャーズ医師も予言者の身を案じて自ら獄中の人となつたのである。

六月二十七日の朝、フォード州知事はその時カーセージに集つた暴徒から彼等を守ることを約束していながら彼等を牢獄に監禁したまま又暴徒を市の広場にキャンブさせたまゝ自分はノーヴーに行つてしまつた。今は獄中の身となつた彼等は討論と手紙を書く事にその時間を費した。ジョセフはその妻に次の通り書いた。「私は義とされ私の最善を尽した事を知っているので何等思い浅すことはない。私の愛を子供たちや又私をたずねるすべての人に与えてくれ。神よ！ 貴方たちすべてを祝福し給え」

この手紙はその午後一時半に訪問した人によつて送り届けられた。

日が暮れるに従つて一同の上に重い気分が感ぜられて来た。予言者の要求によりジョン

テイラーは「悩める旅人」を歌つた。歌は救主に就て歌つたものでありノーヴーでよく知られていた。

歌い終つた時牢獄の戸の外でがさ／＼する音と引渡せと言う声が聞え直ちに三、四発の銃声が聞えた。リチャーズ医師が窓のカーテンから見ると約百名の武装した暴徒たちが戸のあたりに居た。暴徒たちは建物を取巻いて或者は獄卒に迫り獄卒共は驚き恐れて二階に追避してしまつた。

ハイラムは最初に打たれて「我死す」と言つて床に倒れた。ジョセフは走り寄つて「おゝ愛する兄弟よ ハイラムよ」と叫んだ。次にテイラーが打たれ彼は重傷を負うて床に倒れた。幸運にも一発の銃丸は彼のチョッキのポケットに入つて時計にあたり彼の生命は救われた。ジョセフは自分が部屋から出ることによつて、リチャーズ医師の危険が去ると思つて窓から出ようとした時、命中した三発の銃丸により明いた窓から倒れ落ちながら「おゝ主よ我が神よ」と叫んだのであつた。リチャーズ医師は何等傷を受けず、此の危難を免れたのであつた。予言者と兄ハイラムはその証詞を彼等の血を以て結び固めたのであつた。ジョセフとハイラム・スミス殺害の知らせ

がノーヴーに到達すると市全体が暗い気持ちに覆われた。翌日死体がノーヴーに運ばれた。行列が通過する時、数千の人が街通に並んだ。兄弟たちは翌日埋葬された。この間カーセージの住民はモルモン教徒が大挙してうらみを晴らしに来るであろうことを恐れた彼等の家から逃去つてしまつた。けれども悪に對し惡を以て在る処置はなかつた。

聖徒たちは「広報するは我にあり、我これを報いん」と言つた主の助手に殺人者たちをまかせたのであつた。

ジョセフ・スミスが如何に予言者として、卓越した魅力的な風貌をそなえていたかは、一目でも彼に逢つた者が強く靈感され、又始めて彼を訪ねて来た人が如何に大きな群衆の中に彼が交つていようとすぐ見出すことが出来、又或時彼を殺害せんとする惡意を以て彼を訪ねた暴徒が彼の強い握手に神聖な威嚴に打たれて改宗した話を聞いてもよくわかる。教義と聖約百三十五章に次のように記されてある。「彼は神とその民の眼前に偉大なる産涯を送り偉大なる死を遂げたり。而して、昔主の聖任したまひし者らのほとんどすべてが然ありし如く彼の使命と事業とを己が血を以て結び固めたり」。

伝道本部だより

バプテスマ

沼田修平	山田ミツタカ	石尾博	石尾精一	渡会節子	西原英至	藤原昌典	新山靖雄	関山子	亀井正道	細野智栄子	笠井イツ	伊藤美也子	橋爪富夫	芦沢幸子	大沢久美子	細野孝紹
〃	〃	〃	小樽	小樽	三ノ宮	岡山	柳井	東京南	〃	〃	東京中	〃	〃	〃	〃	東京北
神尾昇	高良恵美子	渡嘉敷耐子	比嘉定盛	金城幸子	金城ヨシ	金城光子	小林直人	二川守夫	平野正利	東山幹子	湖幡信子	松崎智子	松崎菊松	前田みちを	青野敏子	吉田義一
三ノ宮	〃	那覇	〃	〃	〃	普天間	札幌	東京西	〃	〃	〃	〃	〃	〃	東京西	新潟

横山英子 〃
菅井智士 阿倍野
碓井豊長 〃
古瀬花子 松本
橋爪雅枝 〃
西尾宏 横浜

〇教師
荒井 勲 山形
〇祭司
成田 富士夫 東京中
他に韓国に教師一名、祭司
一名の任命がありました。

任命

青木春英 〃
中村吉宏 岡山
木村輝夫 〃
山田節子 岡町
北野千穂子 〃
田中道世 西ノ宮
他に韓国に二十二名のバプ
テスマがありました。

神権

〇執事
近藤敏郎 三ノ宮
大川原ケンスケ 阿倍野
松島烈偉 東京中
金子雅俊 〃
デビッド・マロ長老 仙台支部長
レオン・フラー長老 新潟支部長
グレン・アンダーウード長老 西ノ宮支部長
松本支部長

支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
旭川 旭川市八条五丁目
福岡 福岡市薬院大通二ノ五五
群馬 高崎市並榎町二七五
広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
金沢 金沢市成瀬町一ノ四 野田方
甲府 甲府市富士見町一
松本 松本市沢村一六〇四
室蘭 室蘭市幸町八九
名古屋 名古屋市中区和区北山町三ノ四一
新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方
西ノ宮 兵庫県西ノ宮市田代町一一一
岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
岡山 岡山市国富一ノ一九 丹下方
小樽 小樽市富岡町一ノ三五
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五
札幌 札幌市北二条西二四丁目
仙台 仙台市光輝寺通り二八
東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四
東京北 東京都豊島区椎名町四ノ二〇六八
東京南 東京都大田区南千束町二四九
東京西 東京都武蔵野市吉祥寺三六八
山形 山形市諏訪町三九七
柳井 山口県柳井市今市三九一
横浜 横浜市中区磯原町二九
普天間 沖縄宜野湾村野嵩区三二八
那覇 沖縄那覇市松尾区一三九

編集後記

「モルモンとは？」の著者で知られているヒンクレー長老がやって来た。非常にきさくな方で年配の一人の宣教師といった親近感をおぼえる。

全世界の宣教師の大元締であり、多くの宣教師の問題に接して来ている彼の来日の目的はどうやら伝道の重要性の強調にあると思われる。

ヒンクレー長老の面接により本伝道部も伝道部長会の副伝道部長が東中央地方部の特別大会（五月二十九日）で支持された。第一副伝道部長はかつてアンドラス部長と共に戦後初めての宣教師であったテッド・プライス長老、今は米国の移民局の局員として家族と共に日本に於いて働いている。今でも日本話が上手で大会ではさつそく七才の時に受けた祝福師の祝福により「東の島々に伝道するであろう」という点から説きだし印象的な説教をしている。これからの彼の活動が楽しみである。

第二副伝道部長は巡回宣教師であったバンダイク長老である。地方部大会でこのような特別な発表があり、またヒンクレー長老の話も幸いにテープにとる事が出来たので校了ぎり／＼でわかったが組変えしたのでヒンクレー長老の特集号に期せづしてなってしまった。

（大塚）



天使モロナイより 金版を見せられたジョセフ・スミスと三人の見証者

月刊「聖徒の道」第四卷第六号

一九六〇年六月一日発行

実価 一ケ年 三百円

一部 三十円

編集兼
発行人

ポール・C・アンドラス

発行所

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

内 案 書 図

教義と聖約	高価なる真珠	上質革製合本……一・一〇〇円
モルモン経	教義と聖約	合本……三〇〇円
高価なる真珠	モルモン経	（新訳）……二〇〇円
モルモン経	信仰箇条の研究	……三三〇円
モルモンとは	完成への道	……二〇〇円
初等協会教科書	総合聖句の手引	……一五〇円
日本系図探究要覧	古代アメリカの生活	……一〇〇円
旧約聖書物語	家督権の祝福	……一〇〇円
扶助協会手引		……五〇円

日曜学校用

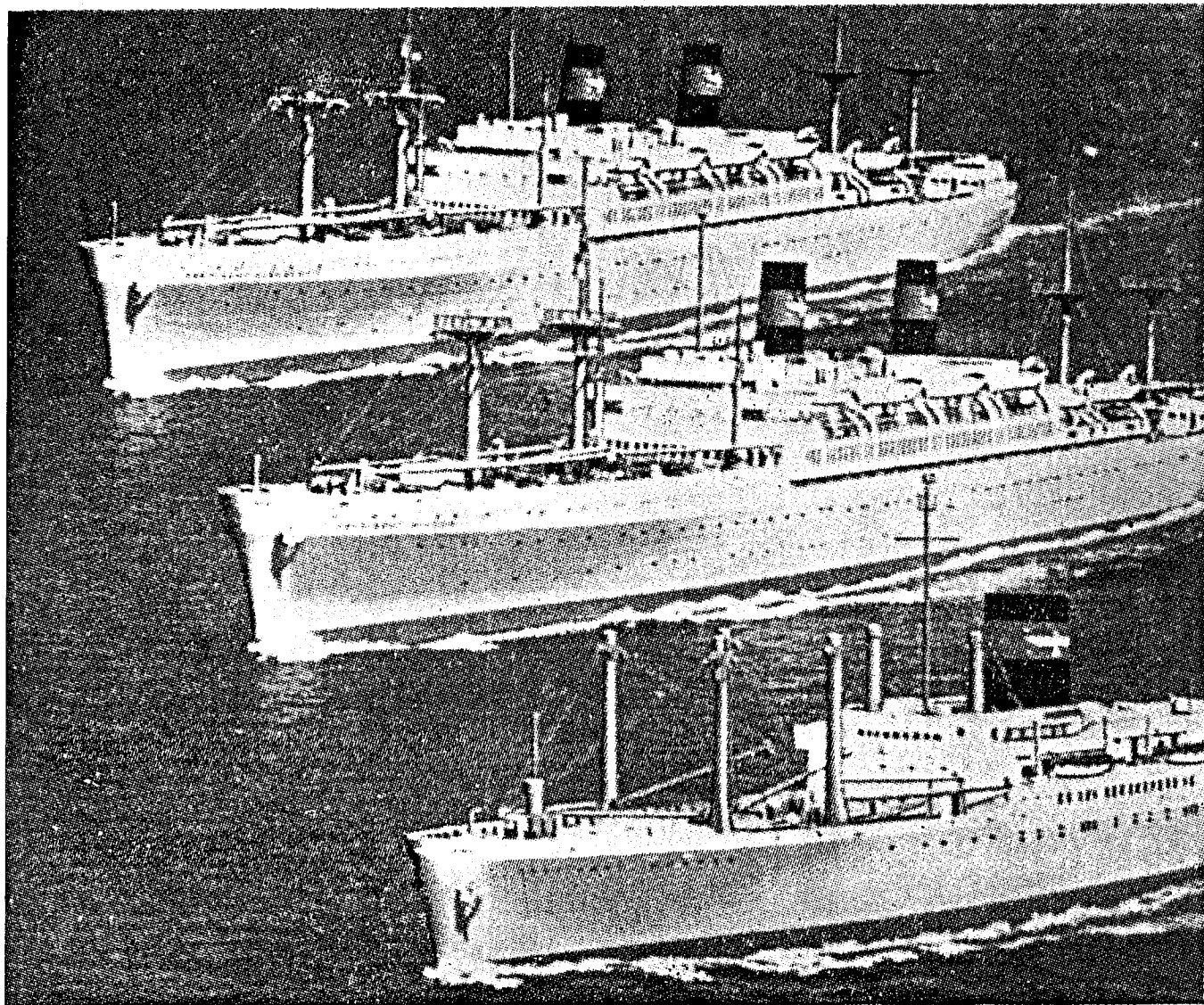
宗教と生活Ⅱ	よきおとづれ	聖書物語語	福音の実践	聖典中の指導者
……一五〇円	……一〇〇円	……一五〇円	……一五〇円	……一五〇円

M I A 用

役員と指導書の手引	我らは奉仕する	Mメン・グリーナーの手引	演劇指導者基礎知識と脚本集	演説が上手になる法	社交ダンス必携	新しいフォークダンス
……一〇〇円	……一〇〇円	……一〇〇円	……七五円	……一五〇円	……一六〇円	……五〇円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌	末日聖徒讃美歌拔萃	子等は歌う	レクリエーション歌集
……三〇〇円	……三〇〇円	……一〇〇円	……四〇〇円



アメリカ向定期に出帆する 豪華船プレジデント号

明日といわず、今すぐ桑港向け出帆の一等とエコノミイ・クラスの完備したプレジデント・ウィルソン号又は姉妹船クリブランド号又はプレジデント・フーパー号(一等のみ)に御乗船の予約を御申込み下さい。

豪華なプレジデント・スタイルで素晴らしい航海をお約束申し上げます。

御希望によって、海空連絡スケジュールを組むこともできます。早速弊社支店又は代理店にお問合せ下さい。



東京 (201) 6831-8 横浜 (8) 7541-5 神戸 (3) 5381-4 大阪 (23) 0260